

# 日本化学会第 106 春季年会(2026)

## 講演者要領：口頭講演

Ver.3 - 2026/2/12

### ハイブリッド発表の会場用

- ① 受賞講演、若い世代の特別講演、ノーベル化学賞受賞記念講演
- ② 市民公開講座

\*\*\* 重要なお案内です。必ず事前にお読みください。 \*\*\*

要領は随時更新します。会期前には最新版をご確認下さい。

## 目次

1. 対象となる発表形式
2. 年会実行委員会で用意するもの
3. 講演者が用意するもの
4. 講演に際しての準備
5. 講演会場レイアウト例

### 第 106 春季年会(2026)に関するお問合せ先

公益社団法人日本化学会 企画部 年会係  
〒101-8307 東京都千代田区神田駿河台 1-5  
E-mail : nenkai @chemistry.or.jp  
URL: <https://pub.conf.it.atlas.jp/ja/event/cs106th>

## 1. 対象となる発表形式

### ハイブリッド発表①

対象：受賞講演、若い世代の特別講演

形式：現地発表＋オンライン（Zoom）リアルタイム配信＋オンデマンド配信（後日）

※オンデマンド配信期間は 2026 年 4 月 6 日（月）～4 月 30 日（木）までです。

### ハイブリッド発表②

対象：市民公開講座

形式：現地発表＋オンライン（Zoom）リアルタイム配信（オンデマンド配信なし）

※ 本要領は上記ハイブリッド発表①・②を対象としています。

「現地開催のみの会場」で発表する講演者は別の要領をご確認ください。

## 2. 年会実行委員会で用意するもの

### ① 配信システム

- 1) Zoom ミーティングを使用します。
- 2) 各講演会場には Zoom ホスト用 PC（※1）を 1 台設置します。
- 3) 各会場に 1 名のテクニカルスタッフを配置します。

※1：演台備え付け PC（もしくは講演者持ち込み PC）は Zoom に接続不要です。

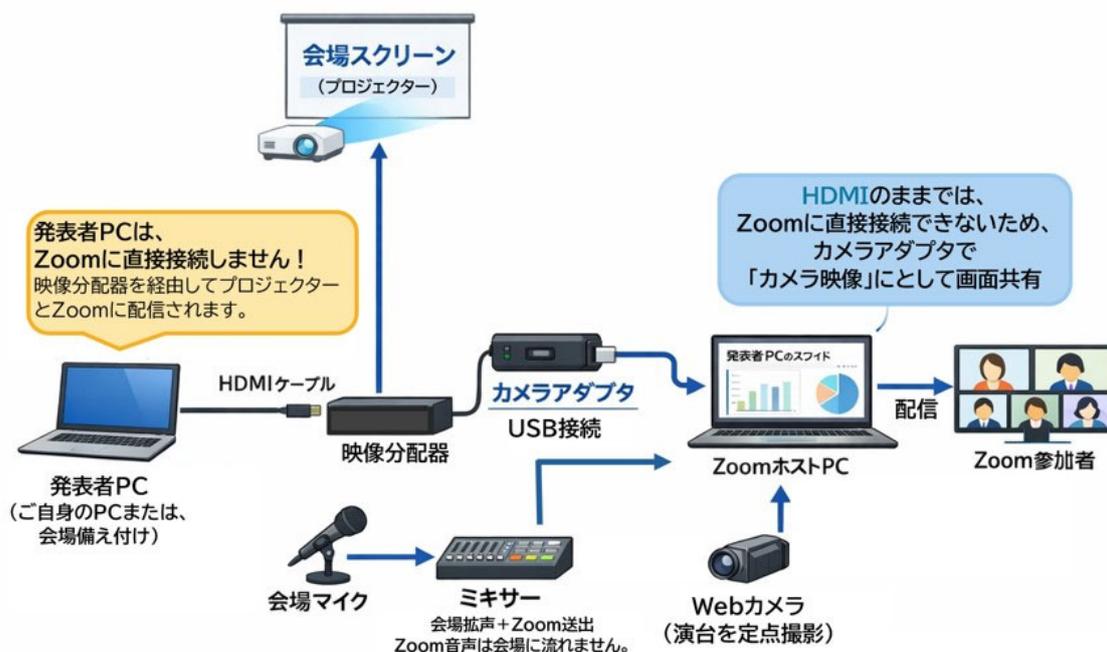
演台備え付け PC（もしくは講演者持ち込み PC）は映像分配器を通じ、「液晶プロジェクター」と「Zoom ホスト PC」に分岐します。映像信号では「画面共有」ができないため、Zoom ホスト PC 接続前に「カメラアダプタ」という器具を挟み、映像信号を「カメラ画」化します。Zoom ホスト PC はこの「カメラ画」を「第 2 カメラコンテンツ」として画面共有し、配信します。

### ② 講演用機材

- 1) 演台備え付け PC（Windows）（※2）
- 2) 液晶プロジェクター（会場既設）
- 3) HDMI ケーブル
- 4) ハイブリッド用マイク・スピーカー・ミキサー（※3）
- 5) 定点カメラ（講演者の登壇状況を撮影・配信用）

※2：発表はご自身の PC で発表することも可能です。ただし以下 3 項および 4 項記載の注意事項をご確認ください。

※3：会場内拡声と Zoom への音声送出（マイク入力のみ）を行います。Zoom 視聴者の音声は会場内に流れません。これに伴い、オンライン聴講者からの質疑は受け付けません。



※ Zoom運営、配信機器操作はテクニカルスタッフ1名、常駐します。

※オンライン聴講者のため、ポインターはレーザーポインターではなく、PCのマウスカーソルを使用してください（レーザー光はZoom画面には映りません）。

※モニター切替器は設置しません。舞台上に設置してあるHDMIケーブルをご利用下さい。

※発表データの事前提出は不要です。

### 3. 講演者が用意するもの

#### ① 講演スライドを保存したUSBメモリ

- ・ 実行委員会でPCを用意します。
- ・ 講演者は発表用資料をUSBメモリ（USB Type-A）で持参し、会場PCに挿して発表してください。
- ・ 交代時すぐに講演スライドを立ち上げられるよう、USBメモリ内は整理しておいて下さい。
- ・ USBメモリは事前の動作確認を行ってください。また、ウイルスチェックおよびOS互換性のチェックを行ってください。

◆ご自身のPCを使用して発表する場合：

- ・ HDMI端子がPC本体にあることをご確認ください。
- ・ HDMI端子がPC本体についていない場合は、接続アダプタ等を各自でご持参ください。
- ・ 電源ケーブル、ACアダプタ、バッテリー等、また、マウス等使用する場合は、ご自身でご準備ください。推奨PCは、解像度フルHD（1920×1080）の映像出力ができるものとします。

#### ② バックアップ用ファイル

トラブル対策として、講演資料は複数のファイル形式（パワーポイント、PDF）で保存し、持参することを推奨します。

## 4. 講演に際しての準備

### 1. 会期前：事前準備（自宅やオフィスにて）

#### ① 許諾書の提出およびガイドラインの確認

別途日本化学会から案内されるオンライン講演同意フォームから、オンライン講演の許諾可否を期日までにご登録ください。

#### ② 発表用スライドを準備する

1. 発表用スライドは、アスペクト比 16 : 9（ワイド）で作成することを推奨します。
2. 解像度はフル HD（1920×1080）に設定してください。フル HD（1920×1080）より大きいものは正しく映写できない可能性があります。
3. スライドに動画や音声を含めることは可能です。ただし、セッション開始前にできるだけ会場内で試写を行い、会場テクニカルスタッフに動画や音声がある旨を申し出てください。また、未公開データや第三者著作物の取り扱いに十分ご注意ください。

◆ご自身の PC を使用して発表する場合は以下ご確認ください。

1. スクリーンセーバーを解除してください。
  2. 省電力設定を解除してください。
  3. スリープ設定を解除してください。
  4. 接続の不具合などが発生した場合に再起動しなければならないこともありますので、ご自身でパスワード入力ができるようにしておいてください。
  5. 電源ケーブル、AC アダプタ等を用意してください。
- ※ 各機能の設定方法や解除方法は、PC の機種により異なりますので、PC 付属のマニュアルにてご確認ください。

#### ③ バックアップ用ファイルを準備する

講演中のトラブルに備えて、講演資料は複数のファイル形式（パワーポイント、PDF）で持参することを推奨します。

#### ④ 接続テストを行う

発表用ファイルを、学校や職場などにある外部モニター（デスクトップ PC のモニターなど）あるいはプロジェクターへ、実際に映写を試みることを推奨します。

### 2. 会期当日：会場到着後～セッション開始まで

#### ① 試写をする

できるだけ発表のセッション開始前に、発表会場に用意された PC に持参した USB メモリを接続して、動作確認をしてください。ご自身の PC で発表される場合は、演台に設置した HDMI ケーブルにセッション開始前までに PC を接続してください。発表会場以外での試写はできません。

試写時間は限られております。試写希望の方が同一時間に殺到し、試写ができない場合もございますので、講演前日までの最終セッション終了後の時間も活用し、試写を実施いただくことを推奨します。

なお、テクニカルスタッフは各会場の最初のセッション開始の 30 分前～最終セッション終了後 30 分間まで、会場に待機しています。セッション開始前の試写は当該セッション発表者のみ取り扱います。

ご自身の PC で試写がうまく行かない場合は、会場備え付けの PC をご利用ください。また試写時にスライドの修正はできません。

### 3. 会期当日：接続・準備～講演（講演会場にて）



#### ① 直前の講演者の講演中は、次演者席で待機して下さい。

次演者席は講演会場前方に設置しています。

#### ② 演者交代

前の演者の講演が終了したら、講演位置に移動してご自身の PC もしくは会場備え付けの PC に HDMI ケーブルを接続してください。会場備え付け PC を使用する場合は、持参した USB メモリを接続してご利用ください。配信の関係上、テクニカルスタッフの合図ののちに発表を開始してください。

#### ③ 講演

講演中の PC 操作は、講演者ご本人でお願いします。

#### ④ 講演終了

講演が終了したら PC から HDMI ケーブルを外して速やかに講演位置から移動してください。足下が暗くなっていますので、配線等に接触しないようにご注意ください。会場備え付け PC を利用した場合は、持参した USB の抜き忘れにご注意ください。

#### ※共著者の方が代理で登壇（代読）される場合

共著者が日本化学会の個人会員である場合に限り、代読での講演が可能です。代読者は会期当日、代読する旨を座長に申し出てください。共著者が非会員であったり、法人会員・公共会員の場合は代読できません。

## 5. 講演会場レイアウト例

